

2021年2月8日

各 位

アートスパークホールディングス株式会社
代表取締役社長 野崎 慎也
(コード番号：3663 東証第2部)
問合せ先：取締役 伊藤 賢
電話番号：03-6820-9590

2020年12月期通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年11月6日に公表いたしました2020年12月期通期連結業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年12月期 通期連結業績予想の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,287	561	535	△761	△93.33
今回修正予想(B)	6,373	773	747	△475	△58.21
増減額(B-A)	86	212	212	286	
増減率	1.4%	37.8%	39.6%	—	
(参考)前期実績 (2019年12月期)	5,381	241	230	241	31.42

※2020年12月期期末の発行済株式総数にて算出しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、クリエイターサポート事業における海外売上が堅調に推移し、当初予想を上回り6,373百万円となりました。営業利益及び経常利益につきましては、クリエイターサポート事業の売上が上振れたこと、UIUX事業において当初見込みより原価低減となったこと等により当初予想を上回り、Candera GmbHののれん等の償却費約367百万円を含め、営業利益は773百万円、経常利益につきましては747百万円の見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失(のれんの減損損失)1,065百万円の計上及び税金等調整により、△475百万円となる見込みであります。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回の予想 (2020年11月6日発表)	—	7円00銭	7円00銭
今回修正予想	—	10円00銭	10円00銭
当期実績	0円00銭		
<ご参考> 前期実績 (2019年12月期)	0円00銭	6円00銭	6円00銭

4. 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元について、経営の重要な課題の一つと認識しており、経営環境の変化に耐え得る経営基盤の強化のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、配当性向を基準とする業績に応じた利益配当により利益還元を実施していく方針としております。

当連結会計年度では、クリエイターサポート事業の売上高、営業利益が、前中期経営計画の最終年である2023年12月期計画値を3年前倒して超過する見込みでございます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、特別損失(のれんの減損損失)を計上し、当期純損失となりましたが、本件は、一過性の特別損失であります。以上の状況及び今回の連結業績予想の修正状況も併せまして、当期の期末配当金の予想につきましては前回予想の7円から3円増配し、1株当たり10円に修正することといたしました。

以 上